

平成27年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

課題番号	18002001	研究期間	平成18年度～平成21年度
研究課題名	世代間問題の経済分析		
研究代表者名	高山 憲之	研究期間終了時の所属・職	一橋大学・経済研究所・教授
		現在の所属・職	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構・研究部・研究主幹

【評価意見】

本研究は、世代間の所得分配の公平性という、現代日本が直面する最も重要な社会問題の一つを、実証的かつ論理整合的に分析する試みとして高く評価され、後続の特別推進研究「世代間問題の経済分析：さらなる深化と飛躍」（2010-2014年度）としてさらに進展している。

少子化・高齢化が急速に進む中で、雇用・医療・年金制度にどのような問題が生じているのか、また、それを解決する政策は何か、ということについて、議論の大前提となる質の高いデータの整備を着実に進めた点が、本研究終了後の最も大きな成果である。特に、「くらしと仕事に関する調査」（LOSEF）は、第1回ねんきん定期便及び年金ネット利用者を対象とすることにより、最長45年にわたるパネルデータを1回の調査で一挙に構築し得たことは特筆に値する。

本研究終了後の5年間の研究成果は、研究チーム全体で査読付き論文86本、招待講演62件と良好である。また、研究代表者らは9回にわたって主要な国際会議を開くとともに、マスメディアなどを通じて研究成果を社会に対しても十分に発信していると認められる。今後、蓄積されたデータを駆使して一層研究が深化することが期待される。